

広報佐野日大

SANONICHIDAい



vol.
229
2021.5.31



決勝戦で得点し、歓喜の雄叫びをあげる大関さん

TOPICS

- ・【入学式】 校長式辞、新入生の新たな門出
- ・【新年度にあたり】 本校に着任した先生方の紹介
- ・【ひか輝る 佐日旋風】 硬式野球部 春季大会優勝！ 2大会連続6回目！
- ・【進路】 大学合格状況
- ・【進路特集】 東京大学4名合格！～在校生へのメッセージ～

校長式辞



自他を大切に ～唯一無二の存在～

校長 渡邊 明男

桜を始め、様々な花が咲き誇り、春の香りが満ち溢れる、まさに春爛漫の今日の佳き日、令和3年度佐野日本大学高等学校入学式を、このように多くの皆様の祝福のうちに挙行できますことを、心からの喜びとするところです。

今真剣な眼差しでこの場に臨んでいる第58期の新入生の皆さん、歓迎の気持ちを込めてお祝いを申し上げます。皆さんご入学、おめでとうございます。また、これまでお子様を、手塩にかけて育てこられた保護者の皆様、ご入学、誠におめでとうございます。ただいま本校で責任を持って新入生の皆様をお預かりいたしました。今後ご家族の皆様としっかりと連携させていただきながら、お子様方一人ひとりの充実した未来づくりを支援して参る所存です。どうぞよろしくお願い致します。

さて、これから始まる、高校生活の3年間は、皆さんの人生を大きく方向づける大切な日々となるでしょう。楽しいことも、たくさんあるでしょう。つらく苦しいこともあるでしょう。だからこそ、今改めて思い起こしてほしいことがあります。それは、このように立派に成長してきた皆さんですが、実は多くの人に支えられてこそ今日であるということ。まずは、この世に生を受けて以来、お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさんなど、ご家族の皆さんの愛情を受け、「無事に、健康に育って欲しい。立派な人になって欲しい」という祈りとともに、大切に育てられてきた。さらに保育園・幼稚園・小学校・中学校、あるいは塾の先生方、そして地域社会の方々などのたくさんの導きや支えによって今日の皆さんの基礎がつけられてきた。皆さん一人ひとりが、大切な大切な唯一無二の存在であるのです。ですから、そのようにかけがえのない存在である自分自身を大切に、これから素晴らしい実りある人生を切り拓いていくのだという覚悟を、持ち続けて欲しい。特に、辛いことや苦しいことに会ったときには思い起こして欲しい。きっと「勇気」と「元気」が体の奥底から湧いてくるはず。また、自らを大切にすると同じく、やはり一人ひとりがかけがえのない存在である、今皆さんの周りにいる佐野日大の仲間たちを大切にしたい。周囲の人を大切にすることが、クラスや部活動などを居心地が良く活気のある「学びの共同体」にし、それぞれが大きく成長していく場を作り上げることに繋がります。「自他を大切に」。不変の原則ではありますが、コロナ禍やSNSが発達している現在にあっては、ますます重要なことであると思います。

さて、私達佐野日本大学高等学校の親大学である日本大学は、1889年、大日本帝国憲法が公布されたその年に、日本法律学校としてスタートし、現在では16学部87学科を有する日本最大の総合大学として発展を続けています。その礎をつくられた学祖山田顕義先生は、かの吉田松陰先生の松下村塾で学ばれました。

立志は特異を尚ぶ、俗流と与に議し難し。
身後の業を思はず、且だ目前の安きを儉む。
百年は一瞬のみ、君子は素餐する勿れ。

これは、松陰先生から若き日の山田顕義先生に与えられた漢詩で、人とは異なる大きな志を持ち、時間を無駄にしないで生きることの大切さを熱く伝えられたものです。

その後山田先生は幕末の戊辰戦争では軍人として活躍され、さらに我が国最初となる伊藤博文内閣では初代司法大臣として法の整備に努めるなど、まさに近代日本発展の基盤創造に貢献された方でありました。私達佐野日大では、この伝統と精神を受け継ぎ、「自主創造」、「文武両道」、「師弟同行」の3つを校訓として教育に取り組んでいます。

皆さんにもこの校訓のもと、一人ひとりがそれぞれに高い志を持ち、その実現に向けて日々励む姿勢を身につけて欲しいと願っています。

また、これからの時代に活躍できる若者を育成するため、本校では基礎学力・応用力の育成、一人1テーマの研究やプレゼンテーションを行う探究学習、イギリス、アメリカ、ハンガリー、中国、ニュージーランド等との交流を基軸としたグローバル教育、ICTを積極的に活用した教育の4つを柱とした教育改革を推進しています。その成果は、この春の卒業生の学習や進路の実績にも良く表れています。これからも、生徒の皆さん一人ひとりの希望進路実現と、時代を先取りした教育の遂行に向けて一層の改革・改善に取り組んで参りますので、新入生の皆さんも、この4つの教育の柱を意識しながら、先輩方に勝る勢いで力をつけて行くよう努力してください。

結びに、本日入学した新入生の皆さん一人ひとりが日々成長し、3年後に大きく力強く羽ばたいていけるよう、教職員一同努力して参りますことをお誓い申し上げますとともに、保護者の皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



入学式 新入生の新たな門出



4月7日(水)、桜満開の春の日に、今年度の入学式が本校プラザ40で挙行された。今年度は感染症対策を徹底し、保護者は各家庭1名までの参加となった。渡邊校長の入学許可に始まり、校長式辞、本学園の長谷川理事長による日本大学学長祝辞の代読、また来賓を代表して横井帝之PTA会長よりお祝いの言葉をいただいた。そして新入生代表として、岡聖之さん(1年・佐野・あそ野学園義務教育学校)が誓いの言葉を述べた。Take the first step in faith.

You don't have to see the whole staircase, just take the first step. (疑わず最初の一段をのぼりなさい。階段のすべてが見えなくてもよい。とにかく最初の一步を踏み出すのです。)というキング牧師の言葉を引用し、強い意志をもって高校生活の第一歩を踏み出したいとの決意を表明した。在校生代表として生徒会長の武井碧香さん(3年・筑西・下館南中)が歓迎の言葉を述べ、新入生を温かく迎え入れた。

* 高校担任 *

※=学年主任

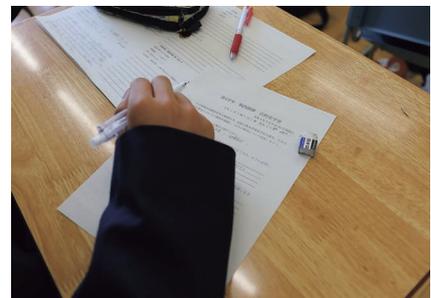
	1年	2年	3年	
特別進学コース	部長: 齋藤 芳幸			
	1 芳賀	1 君島	1 石崎	
	2 和田	2 伊東	2 中村	
	3 大木	3 高瀬	3 塩屋	
スーパー進学コース	部長: 岩崎 浩士			
	4 石川	5 平野	5 五十嵐	
	5 日景	6 今井	6 横畑	
	6 種里	7 坂巻	7 菱沼	
	7 小笠原	8 福田	8 金子	
	8 中丸			
	進学コース	部長: 町田 裕之		
		9 永田	9 今井	9 岡部
10 木村		10 野正	10 蛭沼	
11 高瀬		11 植木	11 田中	
12 板橋	12 青柳	12 平田		

* 高校 主な分掌 *

高等学校校長 渡邊 明男
 高等学校教頭 片岡 哲哉
 // 高原 健治
 特進コース・教務部担当主事 齋藤 芳幸
 進路指導部担当主事 小曾根 勲
 渉外部担当主事 岩崎 浩士
 スーパー進学コース学習指導部・情報教育部担当主事 町田 裕之
 進学コース生活健康指導部担当主事 田邊 健
 入試室担当主事

新入生 校内研修

例年、新入生宿泊研修として2泊3日で行って来たが、今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、校内で映像等も活用し研修を行った。高校生活3年間の意義や、高校生としての基礎基本となる考え方、本校の歴史、日本大学の歴史など様々な講義を受け、理解を深めた。生徒たちは、初めは緊張した様子であったが、講義や活動を通して学級担任や新しい級友たちと有意義な時間を過ごした。



一斉放送による研修の様子



入学式にあたって



自主創造の精神で国家の発展 に寄与する人間に

理事長 長谷川 弘

新入生の皆さん、おめでとうございます。私たち佐野日本大学学園は、皆さんの入学を心から歓迎します。

さて、ワクチン接種が進む中でもいまだ収束が見通せず、コロナ禍による社会構造の変革は止めることができません。また、この10年でコンピュータの通信速度は50倍以上となり、Society 5.0の実現に向けた進化は想像を絶する速度で進んでいます。現代のスピード社会には、幕末から明治初期の日本と多くの共通点があるように思われます。

黒船の来航から明治政府の設立へと日本が近代化へ急速に向かった時代。そこに生きた人物として、NHKの大河ドラマでも注目される渋沢栄一がいます。彼は幕臣となった後にパリ万国博覧会幕府使節団に加わって渡欧、維新後に第一国立銀行の設立や株式制度の導入、さらに500社近くの会社設立に携わり、「日本資本主義の父」と呼ばれる人物です。しかし大業を成し遂げつつも企業の目的はあくまで公益、つまり最終的に国家の発展に寄与しなくてはならないと考え、『論語』を拠り所にした「道

徳経済合一説」という信念を生涯貫き通しました。

一方、日本大学の学祖であり明治政府初の司法大臣、山田顕義先生は岩倉使節団の一員として米欧を視察し、当時の日本には近代法の整備が急務であることを実感します。そこで西洋列強に引けを取らない国家の実現へ向けて、昼夜を問わず法典の編纂に力を尽くしました。そして後にはそれらの功績から、「日本近代法の父」と称されるようになるのです。

「日本資本主義の父」である渋沢栄一と「日本近代法の父」である学祖。激動の時代を生きた二人には、多くの共通点を見い出せるように思います。海外視察の経験をもとに、日本の将来を見通した鋭い観察眼。それぞれ分野は異なりつつも信念に裏打ちされた社会貢献への強い思い。学祖は法教育の必要性を痛感し、明治22年に日本法律学校（現在の日本大学）を創立したのです。

日本大学の教育理念は「自主創造」です。この言葉には、自らの人生を自ら切り開く姿勢があらわされています。私たち佐野日本大学学園も学祖の志を受け継ぐべく、この「自主創造」の精神を礎に、学生・生徒の教育に全力で臨んでいます。昨年、新型コロナウイルスの感染拡大で授業の継続が困難になった時、全教職員が「学びを止めない」を合言葉に短大のリモート授業や、中高あわせて2000本以上の動画配信を行いました。ぜひ安心して自己の学びを深め、夢を実現してください。新入生の皆さんの大いなる可能性に期待しております。



実践主義と自主創造の 精神で未来を生きる力を

学園長 浦田 奨

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たち学園関係者一同、皆さんを心より歓迎いたします。

さて昨年来、新型コロナウイルスの感染拡大は、経済・雇用・教育など社会のあらゆる側面に甚大な影響を与え、私たちの生活のありかたを劇的に変化させました。さらにAIをはじめとするテクノロジーの進展がもたらす社会構造の変化は必然であり、現代の日本は幕末以来の大転換期にあると言われていています。

江戸時代末期、幕藩体制の危機や黒船来航、西洋列強の存在など、日本は空前の事態に直面していました。そこで命を懸けて行動を起こし、国を近代化へ向かわせる原動力となったのが、「幕末の志士」と呼ばれる若者たちです。彼らの多くは明治維新の精神的指導者、吉田松陰先生の「松下村塾」で国の未来のため懸命に学び続けます。明治政府の初代司法大臣であり、日本大学の学祖、山田顕義先生もそのような人物の一人でした。

彼らが切磋琢磨したわずかに十畳半の部屋には、「知行

合一」という陽明学の言葉が掲げられていました。この言葉の意味は、「学んだり、考えただけでは何の役にも立たない、それを行動として表さなければ学んだり、知ったりしたことにはならない」というものです。読書人ではなく、あくまで実践家たることが学問をする上では重要であると言っているのです。その指針を受けて、国家の未来のため学び続けた学祖は、元服を迎えた時に「立志は特異を尊ぶ（志を立てるためには人と異なることを恐れてはならない）」と記された扇面を先生から贈られます。これは日本大学の教育理念、「自主創造」「自らの人生を自ら切りひらく」の精神にも通じるものであり、これから新しい学びに向かう皆さんにとって、大いに励みとなる言葉に違いありません。

新入生の皆さん、江戸末期の激動の中、幕末の志士たちが命を懸けて目の前の困難に立ち向かったように、変化の激しいこの時代を、「自主創造」の精神で逞しく生き抜いてください。そしてそのために、学園で過ごす数年間を人生の貴重な準備期間と捉え、「知行合一」すなわち実践主義を貫き、懸命に努力してください。その先には皆さんの、そして日本の輝かしい未来が待っているのです。本日入学された皆さんが、心に「自主創造」の理念を掲げ、その先の人生を力強く歩まれることを期待し、新入生へのお祝いと励ましの言葉といたします。

今年度着任した先生方

新任の先生方



鵜澤亜希子先生 数学科

生徒の皆さんは礼儀正しく、勉強に対して前向きであるという印象を持ちました。何かやっても何もやらなくても一日一日は過ぎていきます。今置かれている場所で本気で取り組み続けていけば、物事の本質が見えてくると私は信じています。皆さんの充実した高校生活と希望進路実現を力強く後押しできるように頑張ります。



塚越 健介先生 地歴公民科

私がこれまで教員として経験してきたことや他の地域で生活してきた経験などを、皆さんにお伝えしていきたいと考えています。早く本校の環境に慣れ、生徒の皆さんの成長に貢献できるよう、日々励んでいきます。特に、皆さんの進路目標の実現を支えるとともに、「この学校で学んでよかった」と誇れるような、愛校心や郷土愛を伝えていきたいです。



岡田 柊希先生 理科

今年度より、活気のある生徒・素晴らしい先生方と共に、佐野日大で過ごせることが、とても幸せです。校訓のもと、自分の個性を出しながら、生徒の皆さんの学校生活の充実の為に、出来ることを全力でサポートしていきます。また、自分自身にもしっかりと目を向け、生徒の皆さんと共に学び続けます。佐野日大の一員として、自覚とプライドを持ち、毎日を大切に過ごしていきます。



寺内真里奈先生 国語科

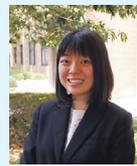
私は中等教育学校の4期生としてこの場所で6年間学びました。とても充実したかけがえのない時間でした。時が経ち、自分の学び過ごした場所で今度はみなさんを支え導く立場となれたことをとてもうれしく思っています。みなさんが将来へ向かって進んでいくお手伝いをしながら、実りある楽しい学校生活を送ることができるようサポートしていきたいと思っています。

はじめまして
よろしくお願いします!



遊佐 幸司先生 地歴公民科

この度、佐野日大で皆さんと一緒に学べることをうれしく思っています。高校3年間は本当にあっという間です。その限られた時間の中で自分自身の武器が何かを知り、この先を自分らしく生きていくために、自主創造・文武両道・師弟同行の「校訓」を心に刻んで生活してほしいと思います。私も校訓を実践し、皆さんとともに成長していきます。そして、これからは横のつながりやコミュニティが大切になる時代です。ぜひ今いる環境・仲間を大事にしながら、高校生活を送ってください。



森 彩花先生 数学科

数学は科学や技術にはもちろん、皆さんの身の回りにたくさんあふれています。数学を学び、数学を用いて考えることで、皆さんの生活がより豊かになるのです。そういった役立つ楽しい数学も伝えていきたいです。また私は、どんなことでも「出来るようになりたい！なるんだ！」と前向きな気持ちで取り組むことが、出来るようになるための第一歩だと思っています。出来るようになるために何をしたらよいかを肯定的に考えていきましょう。一緒に頑張ろう！

中等教育学校から異動された先生



山木 宏光先生 英語科

10年ぶりに高等学校に異動になりました。生徒の皆さんの未来は、今の時期をどのように過ごすかで、「内面的な自己のプログラム」が決まってくるのではないかと思います。自分の心と自分の体で様々なことを感じとり、自分の可能性を信じ、自分の生き方を模索し、自分自身の人生のプログラムが豊かなものになるよう、「今、何をすべきか」、常に念頭において頑張ってください。

退任教職員

- *黒田 広美 教諭(養護)
- 菅井 和子 教諭(国語)
- *森 淳 教諭(英語)
- 有馬 聖元 教諭(地歴公民)
- 萩原 功夫 教諭(英語)
- 上村 亮平 教諭(数学)
- 対馬 美月 教諭(理科)
- ガスリー・チルトン・マックリーン 教諭(英語)
- 菊地日輪子 教諭(国語)
- 乙守 貴正 教諭(地歴公民)
- 篠崎 利夫 教諭(地歴公民)
- 高島 哲彦 教諭(地歴公民)

- 廣末 政行 教諭(理科)
- 恩田 元雄 教諭(英語)
- 上岡 暁 教諭(入試担当)

- *小林 正幸 職員
- ※印の教職員は引き続き勤務します。

新任教職員

- 鵜澤亜希子 教諭(数学)
- 寺内真里奈 教諭(国語)
- 遊佐 幸司 教諭(地歴公民)
- 塚越 健介 教諭(地歴公民)
- 森 彩花 教諭(数学)
- 岡田 柊希 教諭(理科)
- ダニエル・エドワード 教諭(英語)
- 半田 琴音 職員

佐野日本大学学園異動

- 【高等学校→中等教育学校】
- 都鳥 永資 教諭(保健体育)
- 【中等教育学校→高等学校】
- 山木 宏光 教諭(英語)
- 【法人→高等学校・中等教育学校】
- 赤坂 英則 職員
- 大木 啓輔 職員
- 【高等学校・中等教育学校→法人】
- 大橋 義成 職員
- 山下 裕介 職員
- 【高等学校・中等教育学校→短期大学】
- 齋藤 千鶴 職員
- 【短期大学→高等学校・中等教育学校】
- 森戸 泰世 職員

ひか 輝る 佐日旋風

～部活動等の活躍～

チアリーディング部 全国 第3位!



USA JAPAN School & College Nationals 2021 (全国選手権大会) Show Cheerleading 部門 (Novice) へ出場。4月29日(木)、映像審査による結果が発表され、見事団体3位の成績を収めた。

2大会連続 6回目!! 硬式野球部 春季大会 優勝 (表紙写真)

5月6日(木)、栃木県総合運動公園野球場にて第74回春季栃木県高等学校野球大会決勝戦が行われ、作新学院高校と対戦。13 - 10で制し、見事優勝。この結果により、関東大会出場が決定した。優秀選手 岡佐 昌樹(3年・小山・小山第三中) 大関 日和(3年・栃木・都賀中) 川崎 大也(3年・佐野・赤見中) 狩野 太洋(3年・久喜・久喜中)

シトラスリボンフラッグ到来!

新型コロナウイルス感染者や医療従事者などへの偏見・差別の防止を目指す「シトラスリボンプロジェクト」。その一環として、県内を巡回中のシトラスリボンフラッグが、5月12日(水)～31日(月)まで本校で掲示された。この期間に合わせてHRでシトラスリボン作りを行った。また、インターアクト・クラブの生徒が中心となり、学校内にシトラスリボンコーナーを設置するなどして、普及活動を行った。



ゴルフ部 全国大会上位入賞/県ジュニア優勝!

3月22日(月)～26日(金)、兵庫県オリムピックゴルフ倶楽部にて行われた全国高校ゴルフ選手権春季大会へ関東代表選手として3名が出場。見事2名が上位入賞を果たした。

第6位 +6 松澤 虎大 (2年・石岡・石岡中)
第8位 +8 康 翔亮 (3年・日大豊山中)
第92位 +20 松枝 靖悟 (3年・下野・石橋中)



(左より、松枝さん、康さん、松澤さん)

また5月5日(水)に行われた第29回県ジュニアゴルフ選手権大会において、康さんが優勝、松澤さんが第3位に輝いた。

剣道部 全国大会出場!

3月26日(金)～28日(日)、春日井市総合体育館にて行われた第30回全国高等学校剣道選抜大会(男子団体)へ出場した。

令和3年度栃木県高校総体 結果報告

剣道部

男子団体 優勝
男子個人 優勝 荒井 孝征(3年・小山・小山第三中)
準優勝 清水 祥貴(3年・横浜・潮田中)
第3位 大関 泰輝(3年・小山・小山第三中)

陸上競技部

男子800m 優勝 山口 聡太(2年・足利・第二中)
男子1500m 第2位 山口 彰太(2年・足利・第二中)
第3位 滝澤 愛弥(3年・日光・藤原中)
男子5000mW 第2位 小川 駿祐(2年・羽生・南中)
男子5000m 第3位 山口 彰太
男子やり投 第3位 大川 喬聖(3年・佐野・西中)
女子棒高跳 第2位 坂上 凛璃(1年・加須・加須西中)

サッカー部

準優勝(決勝戦 0-2 対真岡高校)

ラグビー部

準優勝(決勝戦 0-78 対國學院栃木高校)

柔道部

女子個人 - 57kg級
優勝 大石 奈美(3年・佐野・北中)
第3位 杉浦和々子(2年・杉戸・杉戸中)



△ 剣道 荒井さん



△ 柔道 左より、杉浦さん大石さん



△ 陸上 山口聡太さん

まちづくり部 佐野市役所でのプレゼンテーション

3月17日(水)、佐野市役所市民活動スペースにて、佐野市活性化を目的としたプレゼンテーションを行った。懇談会や見学ツアーを経て、班ごとに独自のテーマを設定し、出し合ったアイデアをスライドにまとめ、市長や市職員の方々に向けて発表した。



大学合格状況 2021

今年も授業や各種セミナー、課外授業等で努力を重ねた結果、東京大学4名、国公立大学等46名、日本大学390名、難関私立大学等279名の合格者を出し、めざましい成果を収めた。



東京大学 4名
(文Ⅰ、文Ⅲ、理Ⅰ2名)

国公立大学 (大学校含む) 46名 合格

東京大学、大阪大学、山形大学(医)、筑波大学、横浜国立大学、国際教養大学、千葉大学、宇都宮大学、群馬大学、高崎経済大学など

日本大学 390名 合格

法33名、文理39名、経済25名、理工75名、生物資源49名など

日本大学以外の難関私立大学等

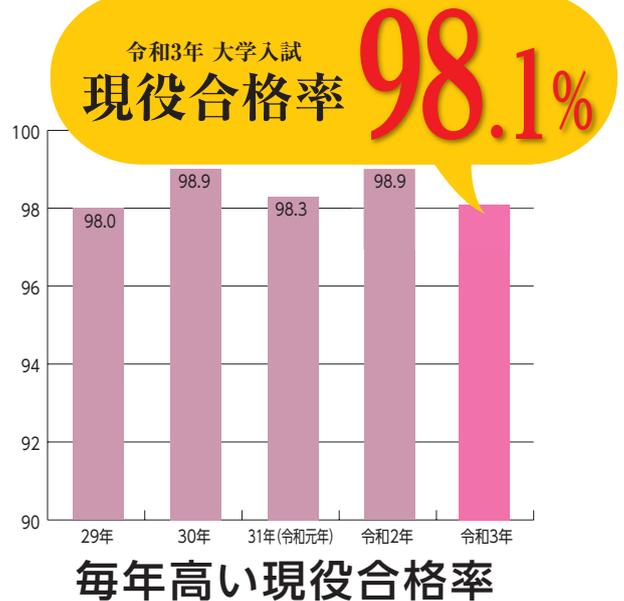
早稲田大学4名、慶應義塾大学6名、GMARCH上理38名など

279名 合格

医歯薬獣医系大学学部 59名 合格

医14名、歯5名、薬17名、獣医3名、(医学部医学科 14名 合格) 看護20名など

令和3年 大学合格状況



国公立大学

東京大学	4
大阪大学	1
筑波大学	2
横浜国立大学	1
山形大学(医)	1
千葉大学	1
宇都宮大学	4
群馬大学	4
信州大学	1
静岡大学	1
新潟大学	1
国際教養大学	1
高崎経済大学	4
横浜市立大学	1
防衛大学校	5
防衛医科大学校	1
等	

日本大学

法学部	33
文理学部	39
経済学部	25
商学部	21
芸術学部	3
国際関係学部	17
危機管理学部	5
入部一ツ科学部	4
理工学部	75
生産工学部	67
工学部	36
医学部	2
歯学部	1
松戸歯学部	3
生産資源科学部	49
薬学	6
等	

私立大学

早稲田大学	4
慶應義塾大学	6
上智大学	2
東京理科大学	8
明治大学	7
立教大学	4
中央大学	6
法政大学	6
学習院大学	1
青山学院大学	4
同志社大学	2
関西学院大学	2
芝浦工業大学	8
日本医科大学(医)	1
獨協医科大学(医)	2
自治医科大学(看)	1
等	

進路
特集

東京大学 4名合格

合格

～在校生へのメッセージ～



文科一類 船越 翔太さん
(壬生・壬生中)

日々の積み重ねは ゴールへの確実な一歩

時には勉強する意味が見いだせず、ゴールへの距離が一向に縮まらないような気がするときもあると思います。しかし、日々の単調に見える積み重ねは確実な一歩になっていきます。受験本番の日に、きっと自分が歩んできた日々のかけがえのなさ、意義深さに感動し、誇りに思うでしょう。皆さんの合格を祈っています。

自分を客観的に見る

模試の結果を主観的にではなく、客観的に見るようにしていました。極端に言えば、赤の他人の模試の結果を見て分析してあげる、くらいの感覚でした。そうすることで、自分は何ができているのか、逆に何が足りず何をすべきなのかが、正確に分析できます。結果は自ずとついてくるはず。応援しています。



理科一類 安藤 晃太さん
(板倉・板倉中)

受験は努力を確実に 反映する機会

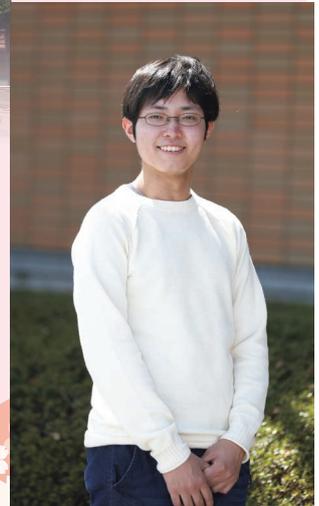
学校で行われる定期テスト、単語テスト、小テストなどに全力で取り組んでください。学校で行うテストは、自分で勉強ができない人のためにあるものです。満点を取れるという確信が持てるまで勉強し、テストに臨んでほしいと思います。受験は才能がなくとも努力さえすれば、必ず結果がついてきます。精一杯頑張ってください。

能ある鷹は爪を研げ

私はこの言葉通り、一度も、東大志望であることを秘密にしたり、隠れて努力をしたりということはありませんでした。自らの爪を隠すことなく、他人より長い時間をかけ、専一に磨き上げたこと。それが、目標を達成できた一番の要因ではないかと考えています。皆さんが日々切磋琢磨し、完全燃焼を遂げることを願っています。



文科三類 菊地 愛麗さん
(足利・第二中)



理科一類 金居 航平さん
(白鷺大学足利中)

担任より一言



田中 光一先生

菊地さんは最後まであきらめない強い気持ちで、クラスメートと共に切磋琢磨し、授業や課外授業に集中して取り組んでいました。今後の活躍を楽しみにしています。



芳賀 俊一先生

合格した船越さん、安藤さん、金居さんとも素朴な高校生らしい生徒でした。様々な分野で日本の将来を明るく照らす人材となるよう期待しています。

編集
後記

今春の東京大学4名合格、そして、硬式野球部の春季2大会連続6回目の優勝など、まさに「文武両道」の生徒たちの活躍に、令和3年度も幸先の良いスタートが切れたと感じる今日この頃。「自他を大切に」し、ともに活気ある「学びの共同体」を作り上げていこう。
(平野記)

広報佐野日大 VOL.229

佐野日本大学高等学校 栃木県佐野市石塚町2555
☎0283-25-0111(代) <https://high.sano-nichidai.jp/>